

事務事業名		認知症高齢者在宅支援事業			会計	一般会計					
課等名		介護高齢課			事業種別	政策		開始	21	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	35	高齢者福祉の推進							
目的	対象(誰・何を)	介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	在宅での介護を受けた生活を維持する。					介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人			20	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせる高齢者の割合					介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人			20	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	サービスの提供を受けた高齢者数/介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人*100			50	60	50				
	成果指標	他の手段で問題解決が図られた高齢者数/介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人*100			50	40	50				
事業概要	<p>1 介護保険該当者で介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人に対して、限度額を超えてヘルパーを派遣する。サービスの内容は、介護保険の訪問介護と同等のサービス(生活援助、身体介護)。提供回数は、原則1日1回以内。</p> <p>2 介護保険該当の認知症高齢者で、介護保険の支給限度額内では重度化の予防が困難である者に対し、限度額を超えて通所介護サービスを提供する。サービスの内容は、介護保険の訪問介護と同等のサービス。提供回数は、原則1月4回以内。</p>										
	<p>事業内容</p> <p>1 介護保険外特別ホームヘルプサービス事業 介護保険該当者で介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人に対して、限度額を超えてヘルパーを派遣する。ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。</p> <p>2 介護保険外デイサービス事業 認知症の重度化防止、在宅での生活の安定を図り介護者の負担軽減につなげる。ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。</p>										
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	1 介護保険外特別ホームヘルプサービス事業 介護保険該当者で介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人に対して、限度額を超えてヘルパーを派遣する。ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。				1 相談件数 サービス提供者数 利用回数 家事援助 身体介護				15人 9人 540回 240回 300回		
	2 介護保険外デイサービス事業 認知症の重度化防止、在宅での生活の安定を図り介護者の負担軽減につなげる。ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。				2 相談件数 サービス提供者数 利用回数				10件 4人 192回		
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
	事業費計(千円)①		5,265	5,008	3,938	5,801	(そ) 老人ホームヘルプサービス負担金				
	国庫支出金										
	県支出金										
	起債										
	その他		313	144	221	349					
	一般財源		4,952	4,864	3,717	5,452					
人件費計(千円)②		0		86							
正規職員所要時間				24							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		5,265	5,008	4,024	5,801						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>相談を受けた中には対象外のケースがあったが、対象者では限度額をかなり超過していたのでサービス利用につながった。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	制度適用の基準の明確化									
	②改革提案	制度を利用するにあたり、適用基準がはっきりしていないため限度額等について検討する。									